

大  
館  
市

# 農業委員会 だより

第75号  
令和4年9月1日発行

## 「農業委員会合同会議の様子」

(開催日7月20日 会場：比内総合支所)

## 「農業委員会総会の様子」

(開催日7月12日 会場：比内総合支所)

# スマート農業の推進について



大館市農業委員会

会長 糸屋 由衛門

皆様には、日頃から農業委員会活動にご理解をいただき、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症数も落ちつき、国民がさまざまイベントへ繰り出すようになり、飲食業、宿泊業に活気が戻ってきたと思つた矢先、新たなウイルスが蔓延し感染者が急増していることから、皆様におかれましては引き続き十分な感染予防に努めていただき、元気に過ごされることを願っております。

さて、昨今の農業事情について、全国的に高齢化が進み、また、若年層の農業への取組みも減少していることから、国としてもスマート農業の推進を掲げて、様々なシステムや機械が開発されているところとす。

大館市でも、農薬散布用ドローン、密苗用田植機、センサー付コンバイン、既存トラクター用直進センサーシステムなど、様々な機種が導入されており、農作業をサポートするシステム及び機械が多種にわたり開発されており、農作業の軽減を進めることにより、若者の農業に対する考え方も変わることを期待しています。

このスマート農業の中で、農業委員会でもデジタルトランスフォーメーション推進のため、次年度から現地調査でタブレットを利用し、農地を確認したものが農地台帳と連動することが出来るようにすることで、農業委員会の作業の軽減も図れることと考えております。

今後も刻々と変化する社会の動きへ目を配り、関係機関と連携し、農業委員会活動へ取り組んでまいりますので、より一層の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 市町村農業委員会 地区別研修会

改正農業委員会法5年後見直しの検討を踏まえ、本年2月に国が発出した農地利用最適化活動のガイドライン通知に基づき、農業委員会は最適化活動の「目標設定」「活動の記録」「点検・評価・公表」を行うこととなりました。また、人・農地関連法が5月20日に成立し、市町村は、将来の地域農業のあり方等の協議の場をつくり、目指すべき農地利用の姿を描いた「目標地図」を含む「地域計画」を策定することになり、この中で農業委員会は、「目標地図」の素案を作成します。

こうした状況を踏まえ、県内の農業委員会が、意向把握や話し合い、マッチング等の活動に引き続き取組むとともに、ガイドライン通知や人・農地関連法に関する活動への着実な取組みを行うことを目的とする研修会に参加しました。



※研修会の様子

## 農業委員会からのお知らせ



### 農地パトロール実施中

遊休農地の実態把握と発生防止・解消対策、農地の違反転用の防止・早期発見等を目的に、8月下旬から9月下旬まで、各地域において集中的に農地の利用状況等について調査を行っています。

### 委員が意向把握等のため、お尋ねすることがあります。

目指すべき農地利用の姿や遊休農地の実態把握と意向確認のため、農地の所有者や耕作者へ直接お尋ねすることがありますのでご協力願います。

## 総会開催・申請受付日程

農業委員会では、毎月1回総会を開催しています。農地の売買、貸し借り、転用等をしようとする方は、受付締切日までに農業委員会に申請書を提出してください。

令和4年9月から令和5年7月までの農業委員会総会の開催予定は、次のとおりです。

総会開催予定日	転用申請届出受付締切日	各種申請届出受付締切日 (転用以外)	転用等現地調査日
令和4年9月13日(火)	8月19日(金)	8月26日(金)	8月30日(火)
10月12日(水)	9月26日(月)	9月28日(水)	10月4日(火)
11月11日(金)	10月26日(水)		11月7日(月)
12月9日(金)	11月24日(木)		12月2日(金)
令和5年1月13日(金)	12月22日(木)		1月6日(金)
2月10日(金)	1月25日(水)	1月27日(金)	2月2日(木)
3月10日(金)	2月22日(水)		3月3日(金)
4月14日(金)	3月28日(火)		4月5日(水)
5月12日(金)	4月24日(月)		5月2日(火)
6月13日(火)	5月29日(月)		6月6日(火)
7月12日(水)	6月26日(月)	6月28日(水)	7月4日(火)

※総会開催日等は変更になる場合があります。

## 委員の任務分担

(令和4年7月20日～令和5年7月19日)

**会長** 糸屋 由衛門 (中山) 農委

**会長職務代理者** 安部 幸美 (餅田2区) 農委

	・ 農業委員会の業務活動の計画	・ 研修の企画
<b>総務小委員会</b>	◎高坂千悦 (本郷2) 農委 渡邊久留美 (向田) 農委 富樫英悦 (板沢) 農委 佐藤謙一 (川口5区) 推進 佐藤稔 (長坂坂地) 推進 秋元優 (猿間) 推進	○菅原一成 (笹館) 農委 斎藤重春 (黒沢) 農委 藤盛久登 (本郷上) 農委 畠山博実 (松峰) 推進 仲澤信仁 (小坪川原) 推進 北村鉄正 (味噌内下) 推進
<b>農業振興小委員会</b>	・ 農作業標準賃金の策定 ◎小林大樹 (小坪川原) 農委 浅利瑞穂 (大森) 農委 小畑美恵子 (四羽出) 農委 畠山米藏 (松峰) 推進 丸岡信雄 (立花2区) 推進 萬田信市 (下川端) 推進	・ 水稻作柄調査 ○前田主幸 (茂屋) 推進 阿部重信 (大葛) 農委 渡邊久雄 (五日市上) 農委 富樫覚 (本宮) 推進 藤原信雄 (沢山) 推進
<b>農地調整小委員会</b>	・ 農地の利用調整 ◎小畑純市 (四羽出) 農委 虻川マキ子 (高戸屋) 農委 伊藤昇 (小館町) 農委 菅原和久 (釣田) 農委 畠山薫 (曲田) 推進 石垣忠廣 (小茂内) 推進	・ 別段面積の設定 ○小林秀文 (中仕田) 推進 石山元一 (赤坂) 農委 畠山繁司 (別所) 農委 田山弘一 (沼館1区) 推進 岸恭司 (笹館) 推進 虻川久樹 (櫃崎) 推進

【◎は委員長、○は副委員長、農委は農業委員、推進は農地利用最適化推進委員】

## 農業者の皆さ～ん！ 将来自分が受け取る年金がいくらかご存じですか？

国民年金の年金額は、令和4年度額は 777,800円（月額約64,000円）です。

※20歳から60歳までの40年間すべての月の保険料を納めた場合の満額です

サラリーマン農家であれば2階建て部分（厚生年金）をプラスで受給できますが、  
 専業農家であれば1階部分（国民年金）しかもらえません。専業農家が厚生年金の  
 ような2階部分を受給するためには自分で掛けるしかありません。

下表は農業者がよく比較している年金の一例です。これを参考に国民年金の2階建  
 て部分を考えてみませんか？民間の年金などもありますが、せつかくなので農業者  
 しか加入できない農業者年金（新制度）をお勧めします。



### 農業者年金・国民年金基金・個人型確定拠出年金(iDeCo)比較

	農業者年金(新制度)	国民年金基金	iDeCo
制度	確定拠出型(掛金が決まっている)	確定給付型(給付額が決まっている)	確定拠出型(掛金が決まっている)
運用者	農業者年金基金	国民年金基金	自分
任意脱退 できる?	○ できる 脱退一時金はなく、年金で支給	× できない	× できない
利率	2.97% (H14年度からR2年度平均)	1.5%(R4現在) ※加入時予定利率	自己責任
元本保証	有	有	無
掛金額	※注 2万～6万7千円 (別途付加保険料400円)	上限6万8千円 (付加年金との併用不可)	5千円～6万8千円 (付加年金加入者は上限6万7千円)
掛金額の変更	○ いつでも増減可能	○ 2口目以降増減可能	○ 毎年4～3月間で1回可能
受取開始時期	65歳	60歳or65歳	60歳
受給時期変更 はできる?	○60歳からできる(早められる) ○75歳までできる(遅らせられる)	× できない	○60歳から70歳まで自由に選択
節税(掛金)	全額社会保険料控除	全額社会保険料控除	全額小規模共済等掛金控除
税制優遇 (受給年金)	公的年金等控除あり	公的年金等控除あり	年金: 公的年金等控除 一時金: 退職所得控除
死亡時	死亡一時金は非課税	死亡一時金は非課税	相続税課税対象
もらえるのは いつまで?	終身受給(死ぬまで)	終身受給と有期受給 (プランによる)	一時金又は5～20年の有期受給 (金融機関によっては終身もある?)
各制度の併用	国民年金基金 × iDeCo ×	iDeCo ○ 農業者年金 ×	国民年金基金 ○ 農業者年金 ×
窓口	農業委員会およびJA	各都道府県の年金基金	iDeCo取り扱いの金融機関

※注 35歳未満で要件を満たす方は、保険料の納付下限額が2万円から1万円に引き下げられます。  
 詳しくは農業委員会事務局までご相談ください。

確定拠出型で終身受給できる優れた  
 年金はそうそう簡単にはないらしいよ!  
 これはお得だワン



旦那さんが私より先に死んだら年金が  
 半分になっちゃうから心配だったの  
 シミュレーションしてみようと思うわ

シミュレーションは…    
<https://www.nounen.go.jp>



## 全国農業 新聞

新規購読者募集中!  
 お申込みは農業委員会へ 🐾

発行: 毎週金曜日・自宅直送  
 購読料: 月700円/年8,400円(税込)